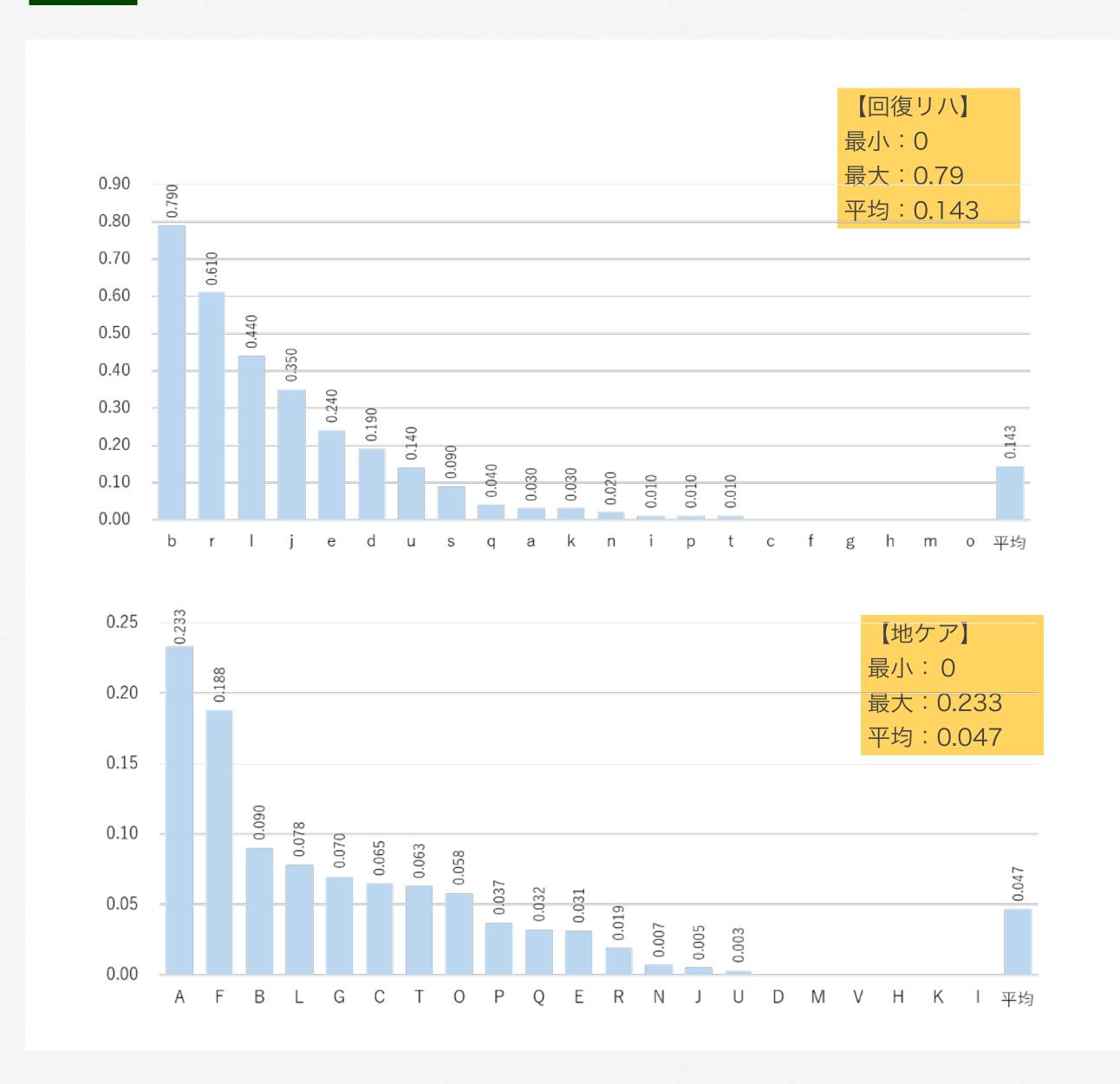
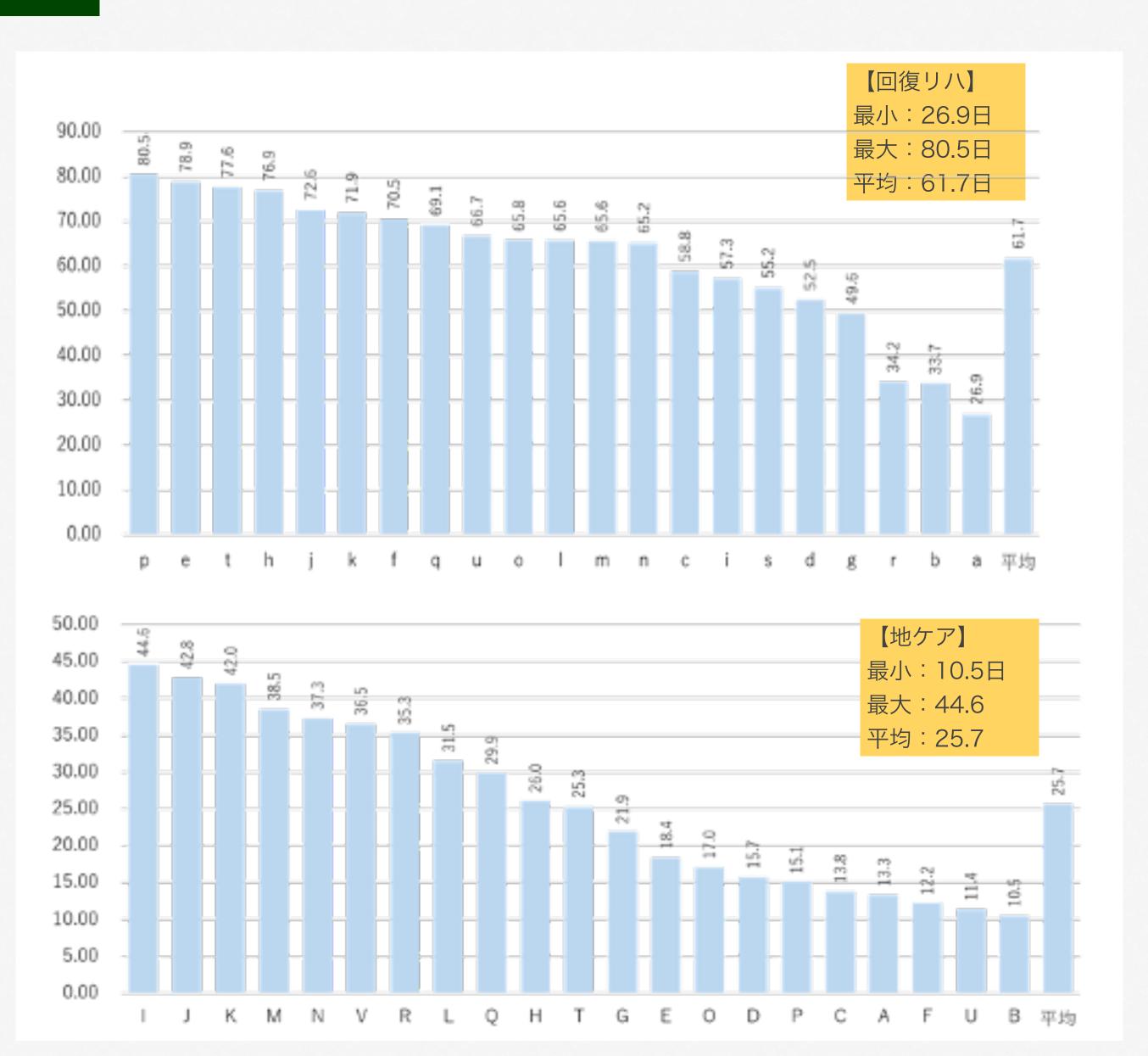
## リハビリ単位数 (1床1月あたり単位数)



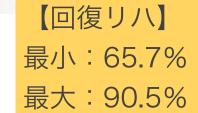
## 栄養管理指導数 (退院日実施分を含む、1床1月あたり件数)



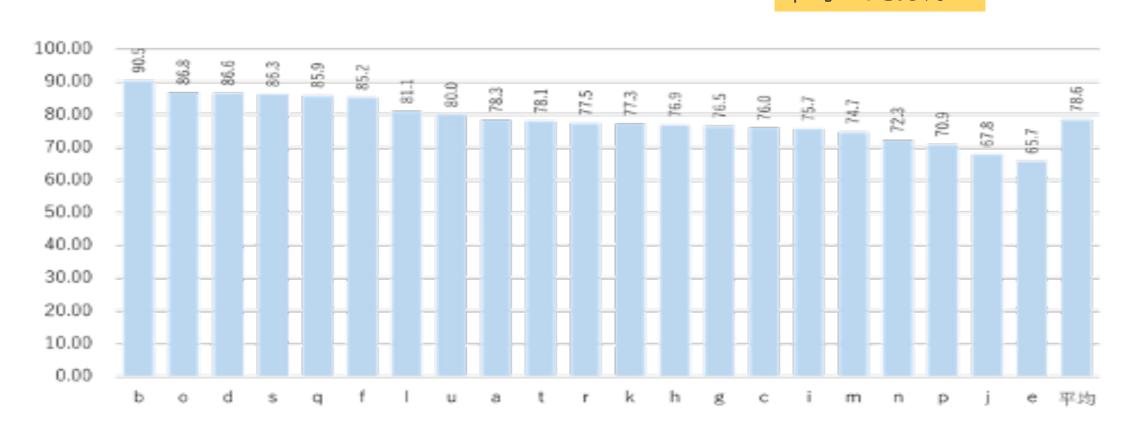
## 平均在院日数

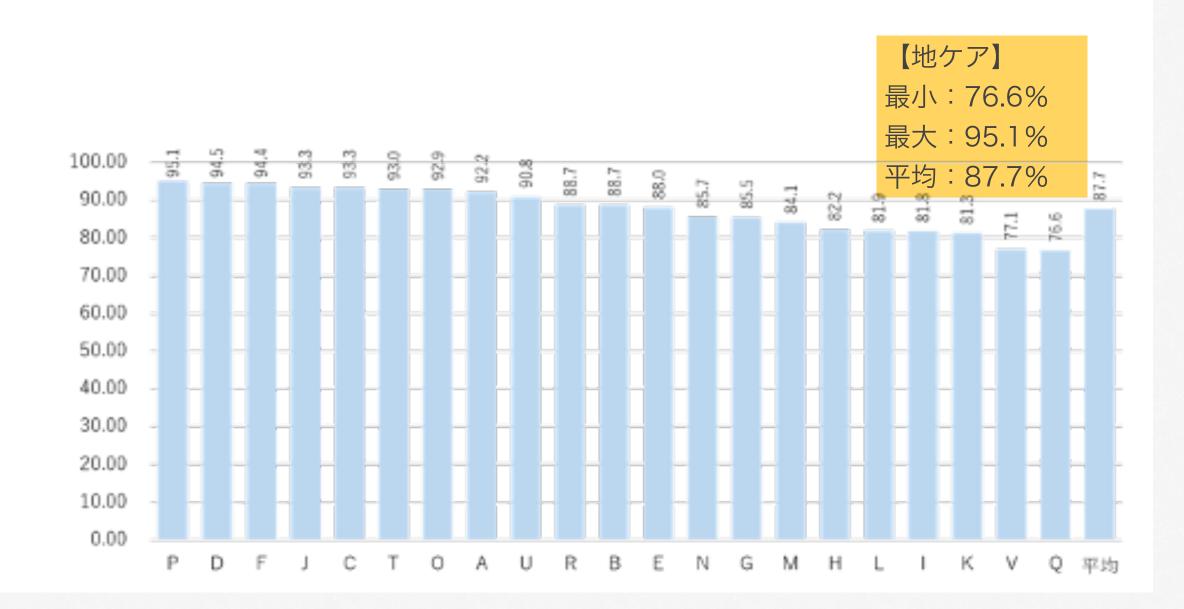


## 在宅復帰率



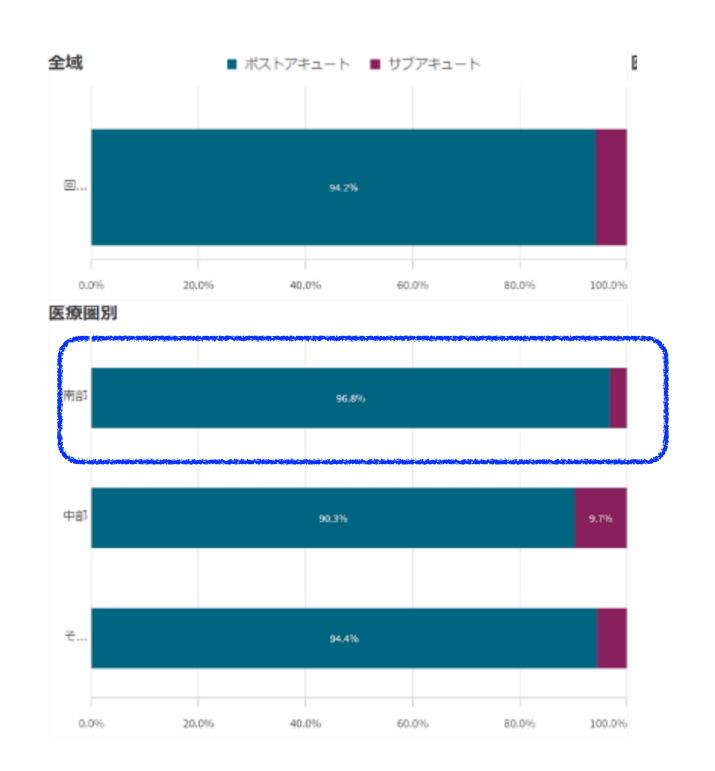
平均:78.6%



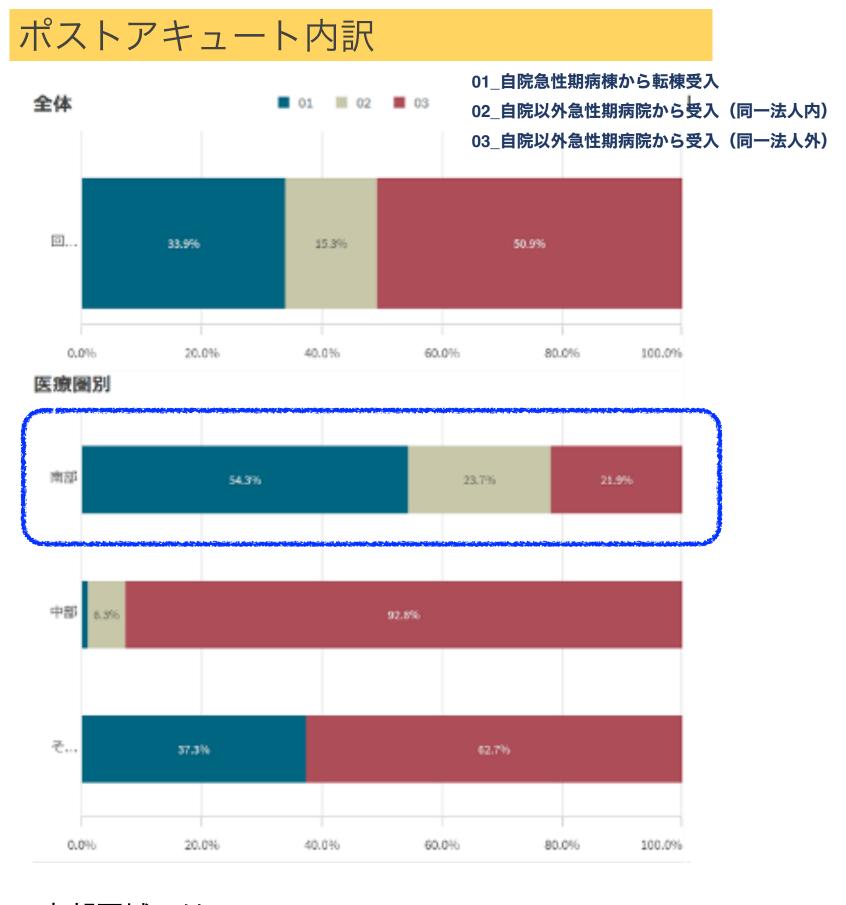


### 入院経路の状況【回復期リハビリテーション病棟】

### ポストアキュート・サブアキュート割合



南部圏域では、 ポストアキュート96.8% サブアキュート3.2%であった。

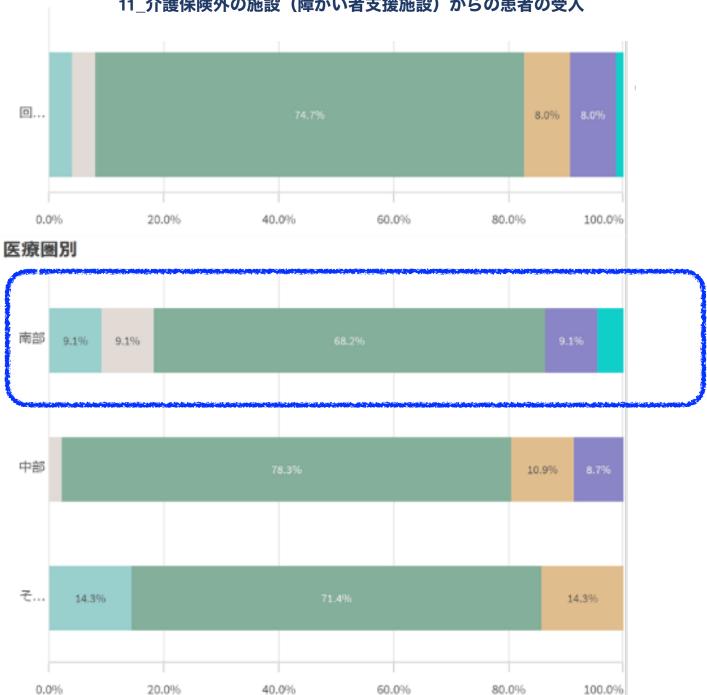


#### 南部圏域では、

自院急性期病棟からの転棟による受入割合が54.3%で、 同一法人内の急性期病院からの受入割合が23.7%と他圏域に 比べ最も高く、同一法人外の急性期病院からの受入割合が 21.9%と他圏域に比べ最も低かった。

### サブアキュート内訳

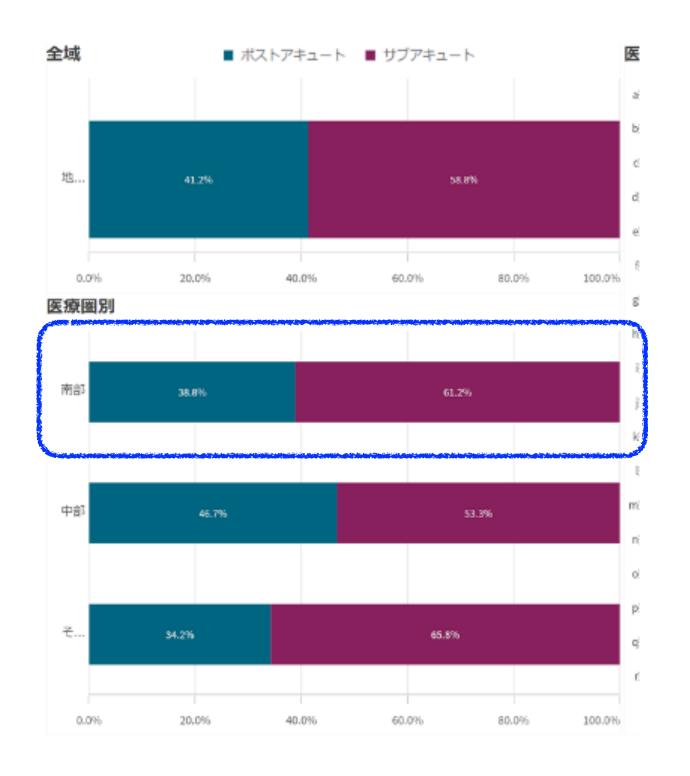
- 04\_自院の慢性期病棟入院患者の転棟による受入
- 05\_自院以外の慢性期病院からの受入
- 06\_在宅(個人宅)患者の受入
- 07 在宅(有料老人ホーム、サ高住、グループホーム等の施設系)患者の受入(同一法人内)
- 08\_在宅(有料老人ホーム、サ高住、グループホーム等の施設系)患者の受入(同一法人外)
- 09\_在宅(介護老人保健施設、介護老人福祉施設)患者の受入(同一法人内)
- 10\_介護老人保健施設、介護老人福祉施設からの患者の受入(同一法人外)
- 11\_介護保険外の施設(障がい者支援施設)からの患者の受入



南部圏域では、在宅(個人宅)患者の受入れ割合が68.2%と他圏域に比べ最も低 く、同一法人内の在宅(有料ホーム、サ高住、グループホームなどの施設系)からの 受入れはなかったが、同一法人外の在宅(有料ホーム、サ高住、グループホームなど の施設系)からの受入れと自院以外の慢性期病院からの受け入れ割合がそれぞれ 9.1%と他圏域に比べ高かった。

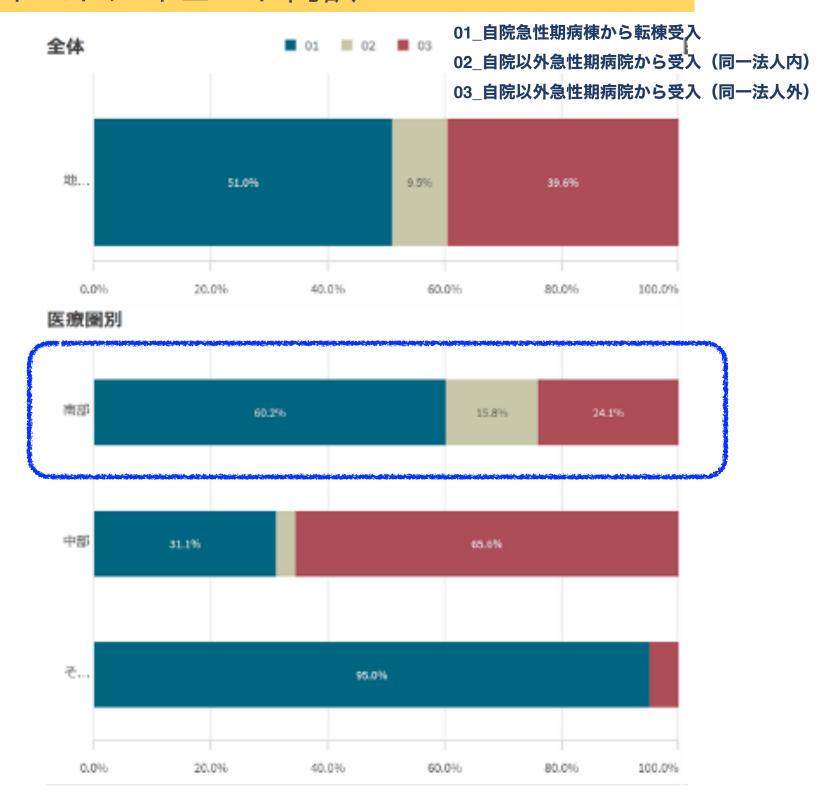
### 入院経路の状況【地域包括ケア病棟】

### ポストアキュート・サブアキュート割合



南部圏域では、 ポストアキュート38.8% サブアキュート61.2%であった。

### ポストアキュート内訳



#### 南部圏域では、

自院急性期病棟からの転棟受入が60.7%と最も高く、 同一法人内の急性期病院からの受入割合についても 15.8%と他圏域に比べ最も高かった。

### サブアキュート内訳

- 04\_自院の慢性期病棟入院患者の転棟による受入
- 05 自院以外の慢性期病院からの受入
- 06\_在宅(個人宅)患者の受入
- 07\_在宅(有料老人ホーム、サ高住、グループホーム等の施設系)患者の受入(同一法人内)
- 08\_在宅(有料老人ホーム、サ高住、グループホーム等の施設系)患者の受入(同一法人外)
- 09\_在宅(介護老人保健施設、介護老人福祉施設)患者の受入(同一法人内)
- 10\_介護老人保健施設、介護老人福祉施設からの患者の受入(同一法人外)
- 11\_介護保険外の施設(障がい者支援施設)からの患者の受入



#### 南部圏域では、

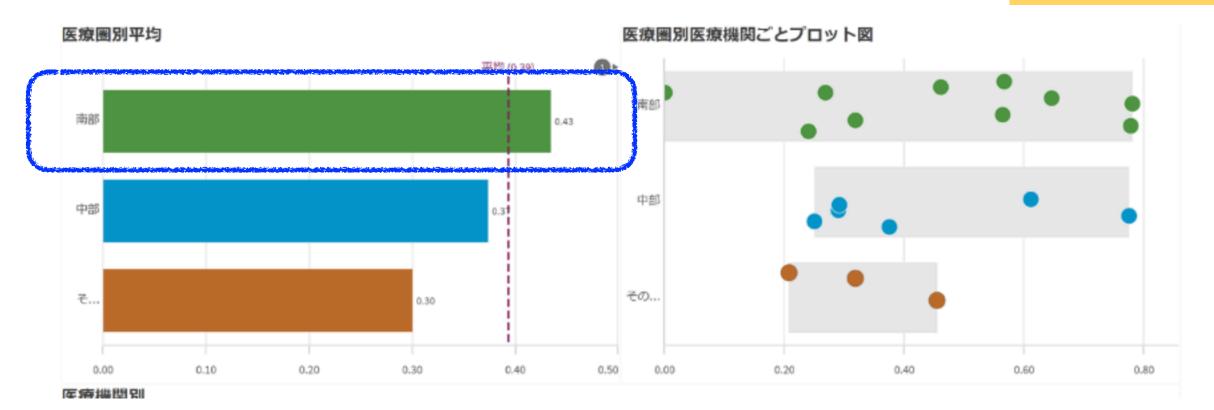
在宅(個人宅)患者の受入れ割合が80.2%と他圏域に比べ最も高 く、自院の慢性期病棟入院患者の転棟による受入れ割合が1.0%と 他圏域に比べ最も低かった。

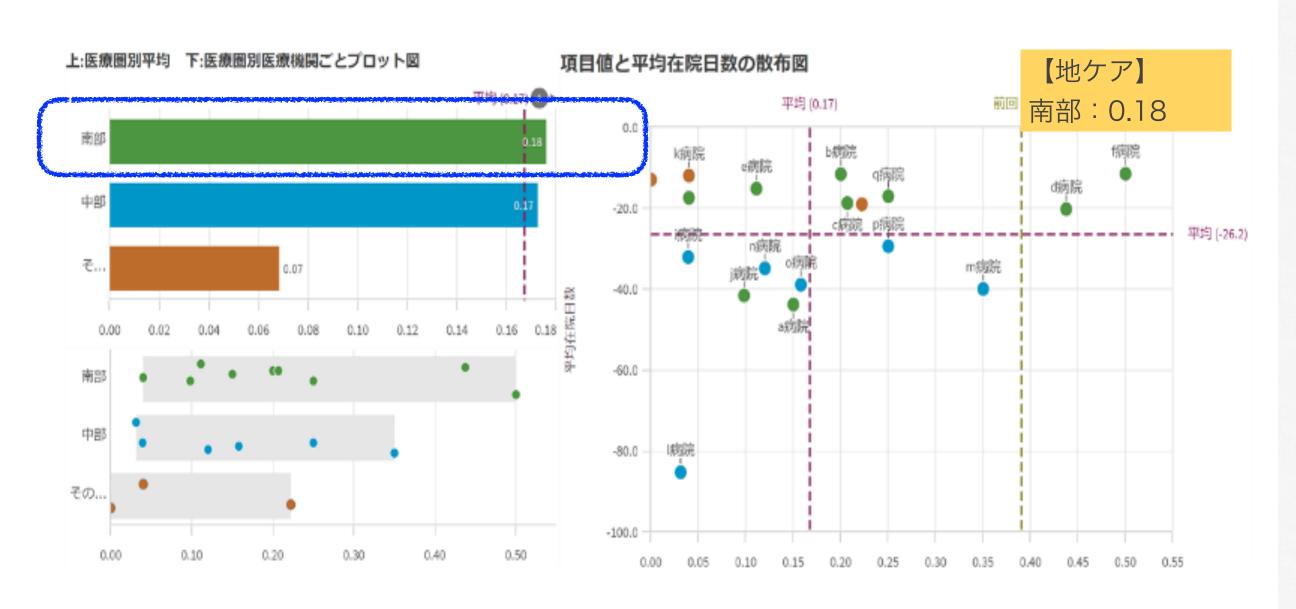
### 社会的(福祉的)支援:介護保険

入院時の介護保険サービス申請(新規または区分変更申請)(/回復期機能の病床数)

(1床1月あたり患者数)

【回復リハ】 南部: 0.43



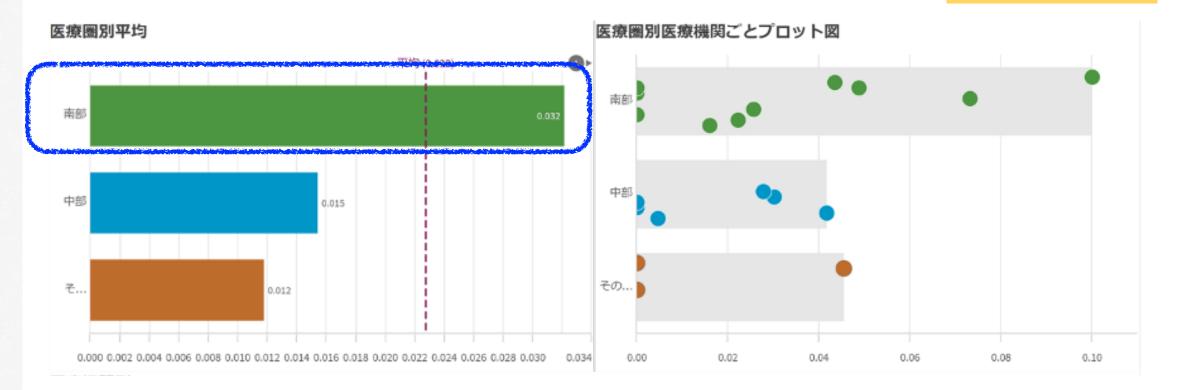


### 社会的(福祉的)支援:生活保護

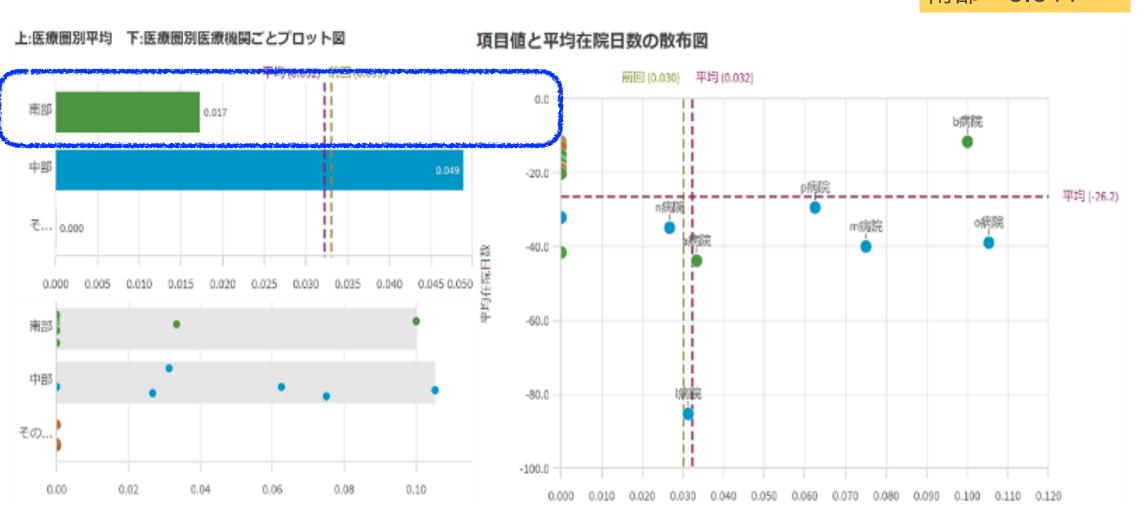
経済的課題があり新規の生活保護申請や相談機関へ調整を予定

(/回復期機能の病床数)

【回復リハ】 中部: 0.032



【地ケア】 南部: 0.017

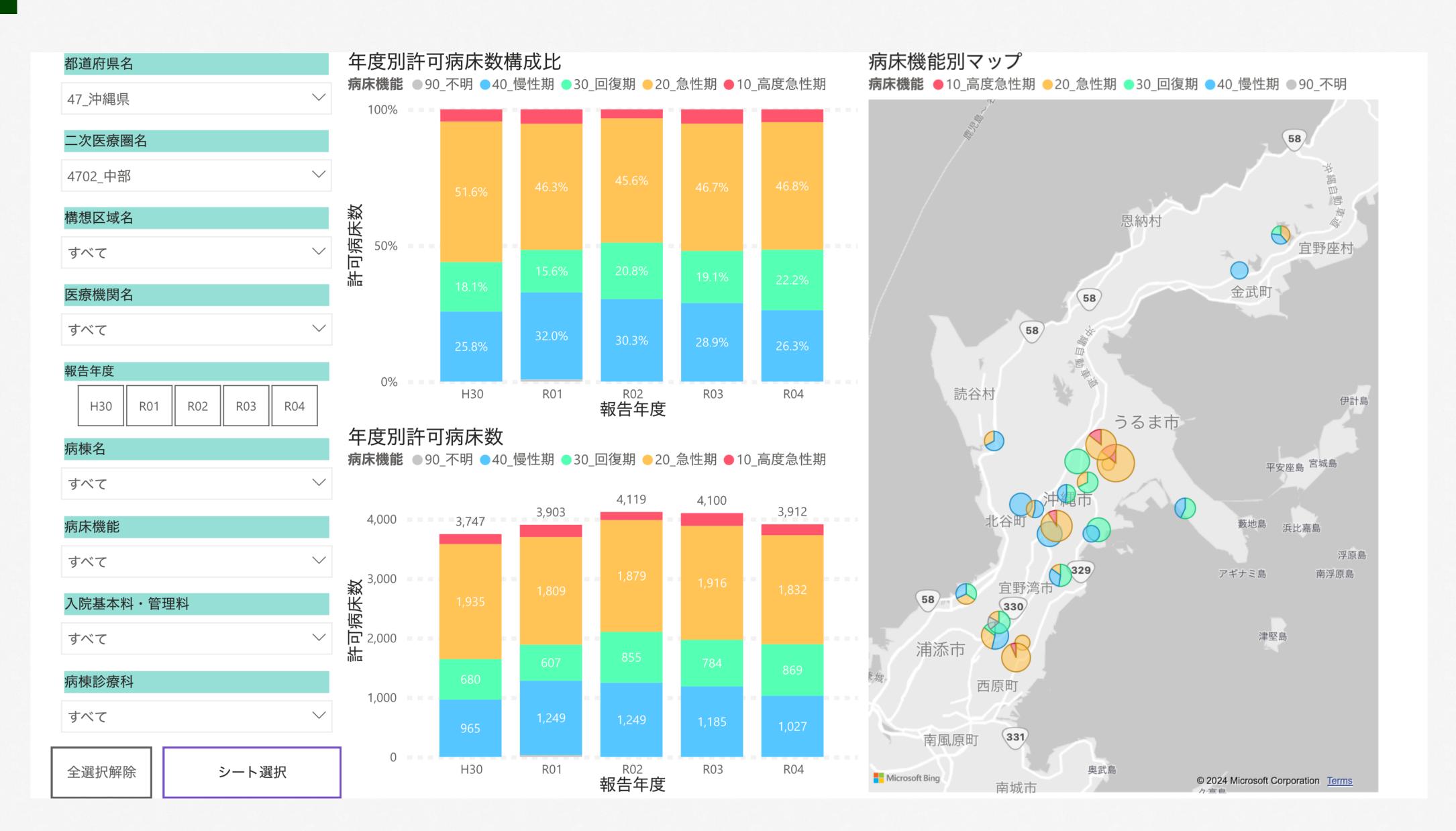


# 「必要とされる機能」の病床整備へ向けた取組(令和6年度)

# 病床整備に係る要綱の制定(議題3)

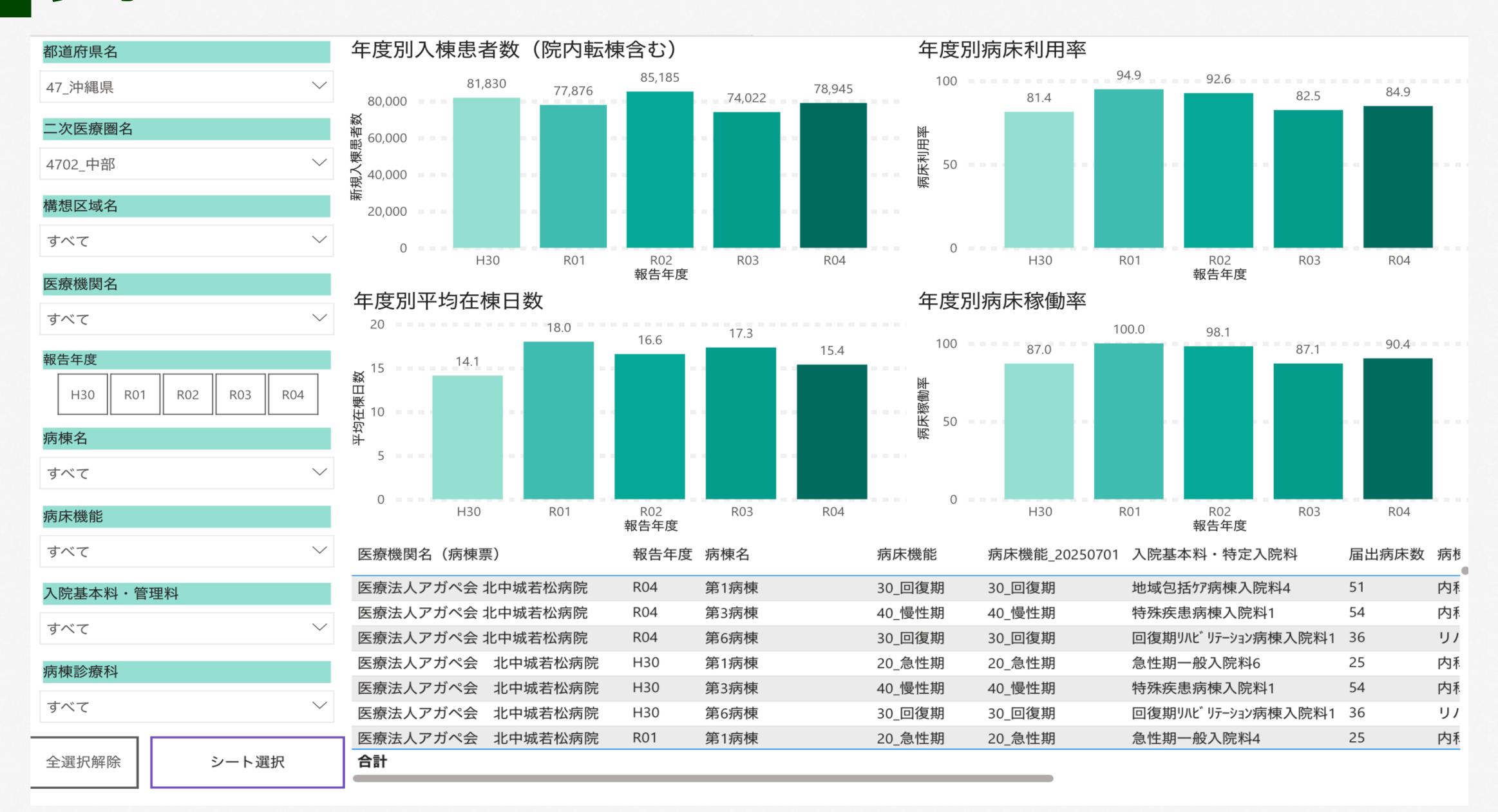
- 地域医療構想策定以降、必要とされる病床整備については国との協議により 「特例病床」として整備を行ってきた。
- 第8次医療計画において基準病床が既存病床を超えたことから、今後の増床・ 病院開設に係る要綱を定め、地域において協議をしたうえで、事前協議(公募) による整備を行っていくことする。
- 地域における協議にあたっては、各種データや各医療機関のご意見(アンケー ト調査)も確認しながら「地域に求められる医療機能」についてしっかりと議論 を行っていきたい。

# 病床機能報告オープンデータ多角的可視化ツール:Sophie(ソフィー) ©TKインサイト 國吉 徹也 氏

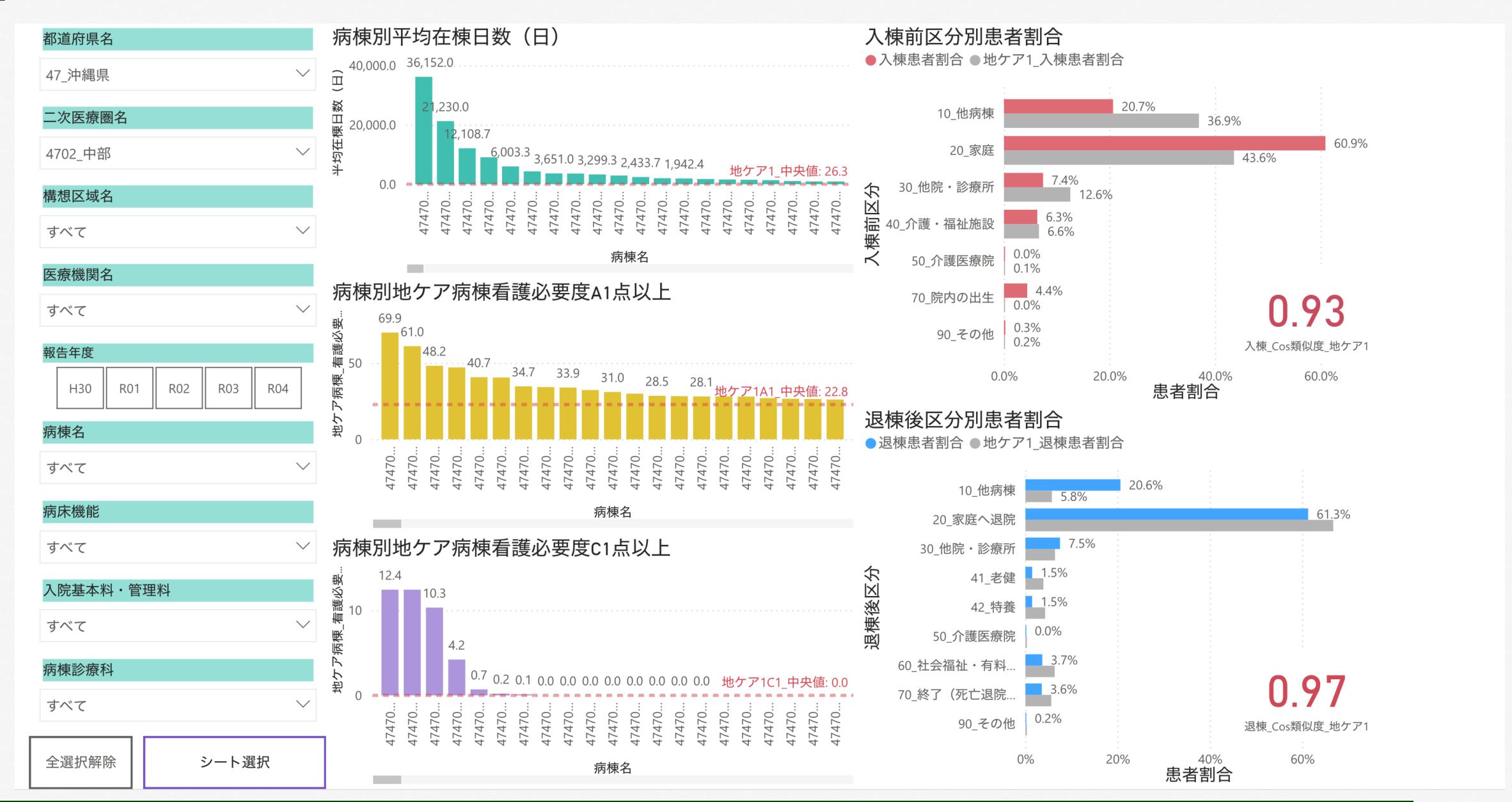




## 病床機能報告オープンデータ多角的可視化ツール: Sophie(ソフィー) ©TKインサイト 國吉 徹也 氏



## 病床機能報告オープンデータ多角的可視化ツール: Sophie(ソフィー) ©TKインサイト 國吉 徹也 氏



## 病床機能報告オープンデータ多角的可視化ツール: Sophie(ソフィー) ©TKインサイト 國吉 徹也 氏



注)本可視化ツールは、平成30年度から令和4年度病床機能報告の報告結果における施設票と様式1 病棟票のデータを加工して利用している。元 データの誤っていると思われる値は、そのまま反映している。

そのため、平均在棟日数、病床利用率・稼働率のような算出した値が非常に大きく(小さく)なっているものがあるため、利用について注意が必 要なものがある。